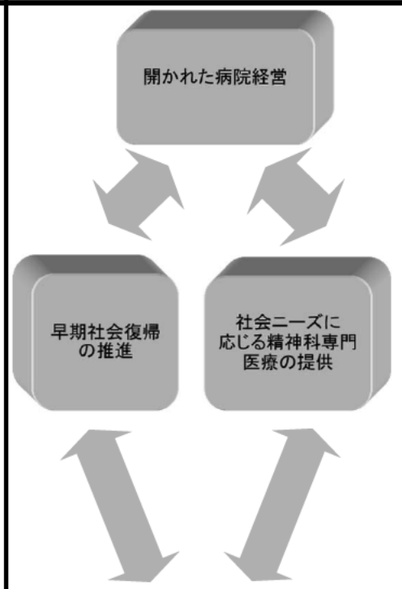
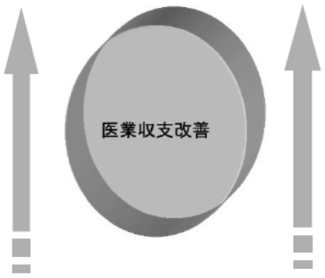
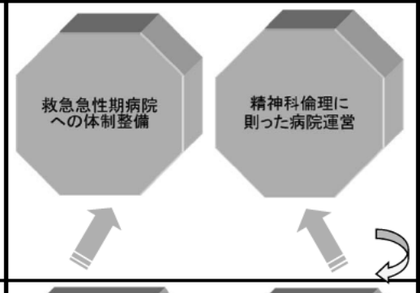
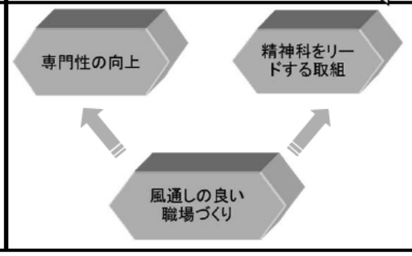
平成29年度　こころの医療センター院長マネジメントシート（最終実績）

病院名	こころの医療センター
ビジョン	県民の皆さんのより良いこころの健康をめざし、精神科疾患があっても地域で安心して暮らせるよう、医療サービスを提供していきます。
経営方針	精神科の医療倫理を遵守し、患者や家族の皆さんの視点に立った良質で満足度の高い医療サービスを提供しながら、健全な病院運営を進めます。 政策的医療や専門的医療、災害医療の取組において、県内の精神科医療における中核病院としての役割を担い、県の精神科医療をリードします。

区分	経営シナリオ	目　標	主な成果（重要成功要因）	業績評価指標	H28実績値	H29目標値	H29実績値	アクションプラン	実績評価	次年度への課題
顧客の視点		◎重点取組事項	病院機能の再編・推進	デイケア・ショートケア延べ患者数	12,858人	18,000人	14,446人	・日中活動支援の充実	・多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供することに努めたものの、目標を達成することができなかった。	・引き続き、患者の生活能力等が向上するよう支援を行っていく必要がある。
			満足度の高い医療の提供	患者満足度	87.5%	91.1%	83.4%	・患者等ニーズの把握	・施設、設備面の改善を図るとともに、接遇向上に向けた研修などを行った。	・患者アンケートの声などを踏まえながら、引き続き、患者満足度の向上に取り組んでいく必要がある。
		早期社会復帰の推進	新患者の寛解率の向上	新患者の寛解率	64.9%	60.0%	61.3%	・早期、急性期医療の充実 ・地域生活支援体制の推進	・前年度同様、高いレベルの寛解率を維持し、目標を達成することができた。	・引き続き、早期、急性期医療の充実を図りながら、寛解率の向上を図っていく必要がある。
			精神科救急・急性期医療の推進	精神科救急患者受入件数	211件	230件	258件	・精神科救急受入体制の確保	・三重県精神科救急医療システムの支援病院として、多くの救急患者の受入れを行い、目標を達成することができた。	・引き続き、支援病院として受入体制を維持していく必要がある。
			地域生活支援体制の充実	訪問看護延べ患者数	5,154人	5,000人	4,824人	・アウトリーチサービスの充実	・多職種や複数の看護師による訪問看護にも取り組んだものの、目標を達成することができなかった。	・患者の在宅療養が継続できるよう、引き続き、訪問看護サービスの充実を図っていく必要がある。
				入院後1年以内の患者退院率	94.7%	95.0%	87.9%	・地域の関係施設との連携及び日中活動支援等の充実	・市町や障害福祉サービス事業所などの関係機関と連携し、症状や生活環境等に応じた適切な退院支援を行った。	・引き続き、関係機関と連携し、退院に向けた適切な支援を行っていく必要がある。
		社会ニーズに応じる精神科専門医療の提供	地域医療機関との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取組件数	4件	4件	4件	・地域医療機関への訪問 ・地域連携ミーティングの開催及び協働事業の開催	・障害福祉サービス事業所との意見交換会の開催や医療機関への訪問などを積極的に行い、顔の見える関係づくりを推進した。	・引き続き、関係機関との顔の見える関係づくりに取り組んでいく必要がある。
				医療機関訪問件数	200件	200件	213件			
			精神科早期介入の推進	精神科早期介入対応件数	151件	200件	213件	・早期介入拠点(YMSC-MIE・YAC)の充実、ケースマネジメント体制の確立	・積極的に、精神疾患に悩む若者やその家族からの相談への対応や精神疾患・精神障がいにかかる普及啓発に取り組むことができた。	・引き続き、若者等への早期介入・早期支援に取り組むとともに、精神疾患等への正しい理解を広めるためのセミナーを開催していく必要がある。
			県民ニーズの高い精神科医療の取組	こころしっとこセミナー開催件数	45件	30件	58件	・精神科医療取組の広報・啓発等		
財務の視点		◎重点取組事項	臨床・経営指標に基づいた病院運営の確立	臨床・経営指標の追加・充実	指標事業への参加	充実	充実	・臨床・経営指標の追加等、データ分析	・全国自治体病院協議会が行っている「医療の質の評価・公表等推進事業」へ参加し、職員の知識を深めた。	・同左の事業における指標の分析を行い、他県の県立精神科病院との比較検討を行っていく必要がある。
		医業収支改善	医業収支比率の改善	医業収支比率	72.6%	74.7%	68.4%	・精神科専門治療の充実 ・精神科特定入院料の算定 ・収支改善に向けた病院機能の検討 ・病棟機能の明確化と病棟間の連携 ・飲酒運転違反者に対する診察 ・認知症相談、啓発研修の実施	・急性期の入院患者に対する医療の提供や訪問看護・デイケア等による地域生活支援の充実などの医療サービスを提供した。 ・上記に加え、診療材料等の適正な在庫管理を徹底するなどの費用の縮減に取り組んだものの、外来・入院患者数が減少したことから、経常収支は赤字になった。	・急性期の入院患者に対する医療の提供や訪問看護・デイケア等による地域生活支援の充実などの医療サービスを提供するとともに、診療報酬改定への的確な対応を通じて、収益増を図っていく必要がある。 ・引き続き、費用の縮減を図っていく必要がある。
				経常収支比率	100.8%	101.3%	97.7%			
				アルコール依存症入院患者数	27.5人/日	30.0人/日	25.8人/日			
				認知症入院患者数	37.3人/日	40.0人/日	34.5人/日			
				1日平均入院患者数	284.7人/日	295.0人/日	271.8人/日			
				1日平均外来患者数	253.5人/日	270.0人/日	232.9人/日			
内部プロセスの視点		◎重点取組事項	常時急性期患者受入体制の確立	措置鑑定対応件数	47件	50件	62件	・県障がい福祉課・保健所等との連携、院内救急体制整備	・前年度を上回る措置鑑定要請に対応することで、目標を達成することができた。	・引き続き、多くの要請に対応できるよう、体制を維持していく必要がある。
		医療体制の構築	医師の充足	医師充足率	87.8%	100.0%	87.0%	・研修や資格取得へのバックアップ体制を強化し医師に魅力ある病院づくりの取組	・医師にとって魅力ある病院づくりに努めるとともに、ホームページを刷新して病院の魅力の発信などを行ったものの、目標を達成することができなかった。	・引き続き、医師にとって魅力ある病院づくりや、ホームページ等を通じた病院の魅力の発信に取り組んでいく必要がある。
			看護師の充足	看護師充足率	100.0%	100.0%	100.0%	・育児・介護のための休暇等が取得しやすい勤務環境を整備するなど魅力ある病院づくりへの取組	・就職説明会の複数回開催などとともに、看護師が働きやすい職場環境づくりに取り組むことで目標を達成することができた。	・引き続き、看護師の確保・定着促進に取り組んでいく必要がある。
		精神科倫理に則った病院運営	医療安全感染管理の徹底	危機管理研修等参加率	86.1%	90.0%	97.4%	・医療安全研修の複数回実施	・職員が参加しやすいよう工夫を図り、参加率を前年度より向上させることができた。	・引き続き、より多くの職員が参加しやすいよう、取り組んでいく必要がある。
学習と成長の視点		◎重点取組事項	人材育成の充実取組	倫理委員会（研修）開催数	2回	2回	2回	・職員の倫理意識向上のための研修の実施 ・職員表彰制度の継続実施	・身体拘束等の医療倫理に関する研修を実施した。	・引き続き、医療倫理や職員のスキル向上につながる研修を実施し、人材を育成していく必要がある。
		専門性の向上	専門能力を身につけた職員の増加	人材育成研修開催数	5回	5回	5回	・職員のスキルアップのための体系的な院内研修の実施	・院内の全職員を対象とした院内研修を実施するとともに、院外研修の受講を促進した。	
		三重県の精神科をリードする取組	精神科医療スタッフの育成	研修医・看護実習生等受入延べ人数	1,997人	2,200人	2,391人	・院内受入体制の整備 ・研修プログラムの見直し、充実 ・看護大学との連携による臨床能力の向上	・研修医や看護実習生等を積極的に受け入れることで、目標を達成することができた。	・県内の精神科医療水準の向上のため、引き続き、研修医・看護実習生等を積極的に受け入れていく必要がある。
		風通しの良い職場づくり	職員満足度の向上	職員アンケートの「満足度」の設問での肯定的な回答割合	62.7%	－	－	・ワーク・ライフ・マネジメントの推進		